

# 令和 2 年度 事業報告

(目次)

I 総括	2 頁
II 各事業の概要	
1 産業振興センター事業	4 頁
2 中小企業支援センター事業	8 頁
3 エレクトロニクスセンター事業	10 頁
4 インタークロス・クリエイティブ・センター事業	13 頁
5 財団プロジェクト推進事業	14 頁
III 事業実績一覧	15 頁
IV 令和 2 年度資金収支決算 (事業別対比)	19 頁

## I 総括

当財団は、「産業振興センター」、「中小企業支援センター」、「エレクトロニクスセンター」及び「インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）」の4カ所の拠点において、中小企業支援法に基づく指定法人及び中小企業等経営強化法に基づく中核的支援機関として広く中小企業の支援を行い、活力ある地域経済の発展に寄与している。

令和2年度においては新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナウイルス」という。）の影響を大きく受けながらの事業実施であったが、特に以下の事業について重点的に取組を行った。

「産業振興センター」では、当財団が持つ豊富な実績、ノウハウ及び関係機関等とのネットワークを活用し、施設の貸出及び各種セミナーを実施したが今年度はコロナウイルスの影響を非常に大きく受けた。また、プロジェクト担当部によりスタートアップ・プロジェクトルーム入居者に対する支援や市内ベンチャー企業への支援等により創業支援を行った。

ものづくり産業においても、支援企業はコロナウイルスの影響を大きく受けたところであるが、企業における製品開発力や競争力の強化によるものづくり産業の振興をはじめ、北海道の農水畜産物の付加価値向上のために、道内の2次生産者と市内の3次産業者のマッチングを進めたほか、マーケットインの発想を取り入れた流通企業との連携による新商品開発を促進した。さらに道産品の輸出促進を図るため、アジアを中心に各企業の海外展開のサポートを積極的に行った。いずれも、コロナウイルスの感染拡大によって変化した環境に適応した支援となるよう、実施方法を変えるなどして実施した。また、販路拡大支援策としては、映像産業振興事業で実施しているプロモーション映像制作助成金などの活用も促し、コロナ禍によってその重要性が増した映像の力を借りての展開にも力を入れたところである。

映像産業振興事業ではコロナウイルスの感染拡大により、国内における映画・ドラマの撮影が軒並み中止又は延期となり、国際映像商談会への出展なども取り止めとなった。一方、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えて、コロナウイルスの感染予防対策を示した撮影ガイドラインの策定や、地場映像産業の基盤を強化するための映像事業者向けビジネスセミナーや人材の掘り起こしの事業を実施した。

「中小企業支援センター」では、経験豊富な相談員による経営・融資相談に加え、札幌市が策定した創業支援事業計画に沿って設置された「さっぽろ創業支援プラザ」で創業相談を行うとともに、計画に参画する他の支援機関と連携を図りながら創業支援を積極的に展開した。

また、昨年1月29日に設置した「新型コロナウイルス肺炎に対する緊急経営相談窓口」を4月にはワンストップ相談窓口として、相談機能を大幅に強化し、コロナウイルスにより影響を受けた中小企業者等の経営・金融相談のほか、新型コロナウイルス対応支援資金、セーフティネット保証制度第4号・第5号及び危機関連保証の認定申請受付、札幌市のテレワーク導入補助金の受付などを行った。

「エレクトロニクスセンター」では、良好な研究開発環境の提供、情報技術分野の

技術革新等の調査、研究及び啓発等の事業を展開した。また、IT技術を活用した新たな製品やサービスを世に出すことのできる企画・展開力のあるIT企業の育成・支援に関する事業や、官民が保有するオープンデータ・ビッグデータの活用促進、更には、「Sapporo AI Lab」を始めとする産学連携による人材育成・研究開発・新たなビジネス創出を目的とした活動を継続している組織等と連携しながらAI、IoT、XRなどの先進的IT技術の促進に関する事業を実施した。

「インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）」では、コンテンツ産業及びコンテンツを活用する他産業の振興拠点として、セミナー・ワークショップ等を通じたコンテンツ産業への支援を進めるとともに、コンテンツ産業と他産業との連携事例の創出に向けた支援も積極的に展開した。

「財団プロジェクト推進事業」においては、スタートアップ創出等に係る各種支援のほか、財団の広報強化など組織横断的な取組を行った。

## II 各事業の概要

### 1 産業振興センター事業

○支出決算額 335,597千円

#### (1) 産業振興センター施設管理運営事業

人材の育成、創業支援等を通じて地域経済の活性化を図るための拠点施設である札幌市産業振興センターの指定管理者として、同施設の管理運営業務を実施した。なお、セミナールームについては、コロナウイルスの感染拡大の影響により休館や使用制限が生じたところ。

##### ◆事業実績

- ・セミナールーム稼働率：50.3%
- ・SPR入居率：57%（部屋数ベースの入居率：61%）
- ・利用者アンケート総合満足度：上期 88%、下期 83%

#### (2) 中小企業経営セミナー等事業

創業のあらゆる段階に対応したセミナー及び人材のスキルアップを通じて企業の経営力強化を図るセミナーを開催した。

##### ◆事業実績

- ・創業者向けセミナー受講者：145名
- ・起業道場受講者：34名
- ・起業志望者向け講座：205名
- ・人材育成セミナー等受講者：920名

#### (3) 女性起業家交流会実施事業

##### ◆事業実績

- ・令和2年度は、札幌市において指名見積合せを執行した結果、他団体が受託したため、未実施。

#### (4) 北大ビジネスインキュベーション支援事業

独立行政法人中小企業基盤整備機構が平成20年12月に設置した大学連携型起業家育成施設である北大ビジネス・スプリング（入居企業23社、入居率100%）に職員1名を派遣し、当該施設の入居企業に対する経営アドバイスや公的支援制度や商談会・マッチングイベント等についての情報提供を行った。

##### ◆事業実績

- ・経営アドバイス等の相談対応：71回、情報提供1,629件／年

#### (5) 食品開発支援事業

北海道は豊富な農水畜産資源に恵まれているものの、その素材の高付加価値化に関しては他地域に比べて後れを取っているのが現状であり、いかに北海道の食資源の付加価値を高めつつ、持続可能な販路を確保するかが課題となっているが、

この課題に対し、本事業では下記のことを実施した。

ア 市内食関連事業者による新商品開発に対して、顧客ターゲットや市場ニーズを基にした商品開発経験のある専門的指導員が商品・パッケージ・内容量・価格設定等、商品開発のコンセプトから完成における過程において、直接意見やアドバイスをを行うハンズオン型の補助金事業を実施するとともに、食関連事業者の連携促進につながるよう、製造、小売、デザイン、機械など食関連企業への訪問等を通じ、相談対応、各種情報発信やマッチング等の実施

イ 輸出向けに商品仕様の変更や営業活動が必要な市内食関連事業者に対する食品輸出拡大のための商品開発（パッケージ・風味・価格帯が海外の消費者に受け入れられやすい食品、賞味期間・保存方法・輸送方法が流通業者に受け入れられやすい食品、構成成分やその表示が海外の監督機関の基準に適合する食品等の開発）、流通計画の策定支援と補助金等による財政的支援

◆事業実績

- ・食品開発のためのハンズオン型補助：4件採択
- ・輸出仕様食品開発のための補助：9件採択

(6) 食品販路拡大支援事業

道内企業の国際競争力を高め、道内経済の活性化を図るためには、経済成長著しいアジアをはじめとする海外への展開に関するサポートや道内企業が主導する商流・物流体制の構築が重要となる。そのため、販路拡大支援部内の「販路拡大チーム」が貿易実務等の指導、現地バイヤー及び輸入商社等の情報収集、提供、輸出可能商材発掘等を行い、民間企業の海外進出へのきめ細かなサポートを実施して、輸出拡大を推し進めるものである。

令和2年度はコロナウイルスの影響から、現地バイヤーとのオンラインによる商談や現地商社を活用した商談は貴重な機会となっているため、オンライン関連の事業などを実施。また、国内販路への回帰も進んでいるため、輸出に向けたワンステップとして、新商品開発支援補助金に採択された企業を対象に流通に関する知見を持ってもらうために、専門的なノウハウを持つ下記企業のバイヤーを指導役とし、開発した商品の更なる改良指導を支援するほか、味覚分析といった科学的なアプローチからの磨き上げも行い、支援の拡大を実施した。加えて、コロナウイルス感染拡大により、道外百貨店等での北海道物産展が軒並み中止となっていることから、テスト販売として道内外での販売機会の確保に努めた。

◆事業実績

- ・貿易関連相談件数：320件／年
- ・商談サポートによる輸出額：182,042千円
- ・財団主催（運営主体）の取引商談会（海外）

商談会・イベント	対象国・地域	会期
誠品生活テストマーケティング	台湾・台北	7月～12月
伊勢丹 KLCC テストマーケティング	マレーシア	12月～3月
新華日本食品有限公司 『北海道食品フェア』及びオンライン商談会	香港	12月、2月

財団主催（運営主体）・支援の取引商談会（国内）

商談会名・イベント	会期
トドック 2021年3月号・8月号用掲載商品選定商談会	9月、3月
近鉄百貨店（物産展出展・EC・ギフト）取引商品商談会	12月～3月
フードストアソリューションズフェア2020 大阪 出展支援	11月
FOOD トレード “アシスト” パッケージ 出展支援	11月
HTB 創世マルシェ 出展支援	3月

(7) 台湾食品海外コーディネート事業

日本からの輸出先として第4位（2020年、農林水産省統計）に位置する重要輸出先であり、かつ、札幌市が実施する輸出実態把握調査の結果においては、輸出額・主要商品輸出地域・重点輸出希望先として常に上位に位置するなど、企業からの進出ニーズも高い台湾に、食品専門アドバイザーを配置し、台湾へ進出または輸出拡大を希望する企業に対し、市場調査から取引候補先のリストアップ、商談のアレンジ、アテンドまで、現地における実践的な支援を行う。

令和2年度は海外渡航費をオンライン商談会開催のための費用に転用して現地需要と台湾に輸出したい企業とのマッチング支援を実施するなど、コロナ禍における有効な輸出支援の展開に臨機応変に切り替えて、本事業を遂行した。

◆事業実績

- ・台湾食関連市場に関する調査・報告：19件
- ・販路拡大に関する現地商談マッチング及び商談支援：63件

(8) 食品認証取得支援事業

食産業に関しては欧米を中心に、流通においても取引相手の事業者にJFSを含む食品安全管理規格の第三者認証を求める動きが広がっており、また、国内においても「食品衛生法等の一部を改正する法律」が平成30年6月に公布され、本年6月からHACCPに沿った衛生管理が義務化されるなど、その流れは確実に広がっていることを背景に、市内事業者の国内外における競争力を確保するために、食品の製造品質や衛生管理に関する認証の取得についての支援を行った。

◆事業実績

- ・認証取得のための補助：9件採択

- ・認証取得に係る情報発信・啓発啓蒙等のセミナー 3回

#### (9) プロダクトデザイナー派遣事業

市内ものづくり企業の製品開発力、競争力強化を図るため、ものづくりにおける「デザイン戦略」の普及啓発セミナーや小規模勉強会を開催したほか、「デザイン戦略」を活用した製品開発のための支援を行った。

##### ◆事業実績

- ・中間報告会、成果発表会：各1回
- ・製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援：4社
- ・WEB成果事例集の制作

#### (10) 小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業

新技術・新製品の開発意欲があるものの、経営資源が限られ開発に踏み出せない小規模企業に対する支援として、市内小規模企業が行う技術的な優位性及び実用化・事業化の可能性が高い新技術・新製品開発等の取組に対し、補助を行った。また、採択後も定期訪問により、製品開発等に関する技術的課題の解決に向けたアドバイスや開発等の推進に向けた支援を行った。

##### ◆事業実績

- ・製品開発・販路拡大のための補助：9件採択
- ・ものづくり企業等への企業訪問：195回/年

#### (11) 映像産業振興事業

映像を活用した魅力の発信、多様な産業への波及、映像産業の基盤強化、シビックプライドの醸成、市民の創造性の誘発について、映像産業振興、フィルムコミッションの両側面から映像活用の施策の具体化を図り、市内事業者や市民と協力・連携し札幌の経済活性化及び地域活性化を進めた。

令和2年度はコロナウイルスの影響により、映画・ドラマの撮影や国際共同制作の活動が停滞し、また、海外渡航困難なため海外見本市への出展も中止となった。

##### ア 映像産業振興

映像産業の基盤強化に向けた人材発掘、ビジネス機会の創出、新事業展開へのきっかけづくり等を実施した。

##### ◆事業実績

- ・地場映像産業活性化のためのプログラム（学生向けワークショップ（5回）、一般・従事者向けセミナー（4回））の実施
- ・映像コンテストの実施
- ・ドキュメンタリー制作実践講座の実施
- ・台北×札幌 映像事業者マッチングイベントの開催

- ・香港映像事業者によるビジネスセミナーの開催
- ・札幌映像コーディネーター勉強会の実施

#### イ フィルムコミッション

映画・ドラマ等の撮影に関する相談・問合せ対応や札幌市内でのロケ誘致につながるためのロケハン、撮影現場対応を行ったほか、コロナウイルス感染症対策を示した撮影ガイドラインを策定した。また、こうしたフィルムコミッションの活動状況を周知することにより、シビックプライドの醸成や他産業への波及効果が期待できることから、支援作品とタイアップしたイベントを開催し、合わせて活動のPRを行った。

#### ◆事業実績

- ・誘致した映画・ドラマの件数：3件
- ・ボランティアエキストラ：総登録者数3,300名
- ・支援作品「波よ聞いてくれ」、「ホテルローヤル」のロケ地マップ等の作成及びタイアップイベント（スタンプラリー、クイズキャンペーン等）の実施
- ・支援映画「kitakita」上映イベントの実施

#### ウ 映像制作助成

映像制作助成事業は、映像制作に係る経費の一部を助成することにより、札幌市における映像制作をより一層促進するとともに、札幌市の映像産業及び映像を通じた産業の発展に向けた取組を推進し、札幌市のブランド化及び観光客誘致につなげることを目的としている。

助成の目的と申請内容により「国際共同映像制作助成金」「映画・ドラマ制作助成金」「海外プロモーション助成金」の三つに分けているが、令和2年度はコロナウイルスの状況を勘案し、映画・ドラマ制作助成金及び海外プロモーション助成金だけを実施した。

#### ◆事業実績

- ・映像制作助成金採択件数：16件（全てプロモーション映像制作案件）

## 2 中小企業支援センター事業

○支出決算額 95,500千円

### (1) 中小企業支援センター事業

#### ① 窓口相談

迅速かつ的確な相談に対応するため、経済センタービルに金融・経営支援リーダー及び金融・経営支援アドバイザーを配置するとともに、応援コーディネーターによる経営アドバイスをを行った。

#### ◆事業実績



- ・経営・融資相談件数 2,829 件（うち、窓口相談：856 件、電話相談：1,640 件、インターネット相談：333 件）

② 融資斡旋・経営支援

金融相談員が「創業・雇用創出支援資金」をはじめ、札幌市融資制度全般の相談にあたり融資斡旋を行ったほか、各種融資制度に関する助言や他機関との調整等を通じて、中小企業の経営支援を行った。

◆事業実績

- ・創業・雇用創出支援資金斡旋件数：49 件

③ 創業資金事後フォローアップ事業

創業資金を利用した企業に対し金融相談員及び中小企業診断士である応援コーディネーターが企業の抱える経営課題に適切なアドバイス・助言を行い、さらに適宜アドバイザー・専門家派遣等を積極的に行うことにより問題解決を図った。

◆事業実績

- ・フォローアップ企業：45 社

④ 中小企業アドバイザー事業

中小企業者が抱える販路開拓や経営戦略、経理・事業計画等の様々な問題の解決のため、各分野における知識や経験豊富な人材をアドバイザーとして登録活用し、企業の経営力等の向上を図った。

◆事業実績

- ・アドバイザー登録：32 名、派遣：延べ 2 日、派遣企業：1 社

⑤ 調査分析事業

相談窓口において公的機関などの提供する財務分析サービス、商圈分析ツール（ミーナ：MieNa）を活用して、中小企業・小規模事業者への問題点を分析し、情報提供を目指している。

◆事業実績

- ・情報提供：0 件

⑥ 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業【国との協力事業】

中小企業・小規模事業者の抱える高度専門化している課題について、国との協力事業である専門家派遣を計画したが、コロナ禍における中小企業・小規模事業者向けの専門家派遣事業が北海道で実施されたため、派遣実績はゼロとなった。

◆事業実績

- ・専門家派遣：0 社（延べ 0 日）

⑦ セーフティネット保証制度に係る認定申請の受付等業務

「中小企業信用保険法第2条第5項」などの規定に基づくセーフティネット保証の認定申請書類の確認、受付を行った。

なお、昨年1月29日に設置された緊急経営相談窓口を「新型コロナウイルスに係る事業者向けワンストップ相談窓口」として機能強化し、4月20日に開設した。各種支援に関する経営相談や当該認定申請の相談及び申請受付が急増した。

◆事業実績

- ・窓口相談件数：40,888件（当センター認定申請受付：17,579社）

⑧ 女性起業家育成事業

女性の中小企業診断士を年50日配置し、女性や若年者を対象として経営課題へのアドバイス・助言を行うほか、関連団体と連携し女性起業家の支援活動を行った。

◆事業実績

- ・創業・経営相談：144件

⑨ 人材確保支援事業

社会保険労務士等による「さっぽろ人材サポートデスク」を継続して開設し、ハローワークや札幌就業支援サポートセンターなどを利用する上で効果的な求人・採用計画、テレワーク導入などに取り組む中小企業などへのアドバイスを行った。

◆事業実績

- ・相談件数 80件

### 3 エレクトロニクスセンター事業

○支出決算額 215,006千円

#### (1) エレクトロニクスセンター管理運営事業

IT産業支援の拠点施設であるエレクトロニクスセンターの指定管理者として、同施設の管理運営業務を実施した。

#### (2) 技術開発室支援事業

エレクトロニクスセンターにおいて、良好な研究開発環境の提供を行った。

◆事業実績

- ・年度末入居率81.5%

#### (3) I o T 推進コンソーシアム事業

札幌市I o Tイノベーション推進コンソーシアムの専門部会の一つであるAI研究部会（Sapporo AI Lab）に関する活動を中心に、AIの社会実装につながる普及・啓発イベントや、AI人材の育成に関する研修、市内IT企業による、A

IやIoTなどの先進的IT技術の社会実装に向けた実証事業への支援、市内IT企業の技術者の高度化を目的とした最新の技術動向、開発手法、プログラム言語等を紹介するセミナーや、実践的なハンズオン研修を開催した。

◆事業実績

- ・AIの活用に関するプロジェクトメイク：飼育動物見守りのためのリアルタイム動作分類、エソグラムAIシステム構築にむけた飼育動物調査研究、灯油タンク使用量予測と残量検知の機械学習、など13のテーマに関する引き合い。
- ・AI人材育成研修（AI×経営実践編 全2回、初心者向けエンジニア育成 全回開催、延べ52名参加）
- ・ITビジネス創出支援事業費補助金（先進的IT技術実証事業費補助金を統合し実施）：2件採択（応募5件）
- ・札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアムのAI部会及びICT活用普及促進部会主催によるイベント：計5回開催 延べ300名参加
- ・先進的IT技術に関する研修（普及・啓発セミナー・イベント）：Developers Festa Sapporo（コロナウイルス感染拡大により無観客開催、収録配信）：講演動画閲覧者334名

(4) IT利活用ビジネス拡大事業

札幌のIT企業と、道内・市内で強みや可能性を持つ他の産業（食、観光、環境、健康・福祉分野等）との積極的な交流を通じ、ITの利活用による新たな製品やサービス創出など、地域の経済を活性化するため、ビジネスマッチング・交流会を開催した。

また、市内中小企業を対象とした補助制度「IT利活用促進事業費補助金」については今般のコロナウイルス対策に特化した市内IT企業のソリューションについて採択・交付したほか、ITの利活用に関するセミナーを開催した。

札幌市エレクトロニクスセンター技術開発室B（ウェットラボ）入居企業を対象とした、研究開発に係る補助金の交付を行った。

◆事業実績

- ・IT利活用ユーザ企業向けセミナー（札幌イノベーションセミナー等）2回実施：延べ200名参加
- ・IT利活用に向けたニーズ調査（対象：運輸業、菓子工業会）：調査対象となった企業とIT企業による交流会4回開催。市内IT企業 延べ24社参加
- ・ITコーディネーターを活用したIT利活用に関するユーザ系企業とのマッチング：3件
- ・IT利活用促進事業費補助金（withコロナ対策）：2件採択（応募2件）
- ・IT-バイオ研究開発補助金：3件、

## (5) ITイノベーション推進事業

市内 IT 企業の新技術を応用した新しいサービスモデルの創出や、必要とされる人材の育成を目的に整備された札幌イノベーションセンターを運用するとともに、今後注目すべき新技術や新サービスの実践的な研修、調査及び実証実験を行った。

また、札幌市からの受託により小中学生や若年層を対象としたプログラミングなど、IT 業界に興味を抱かせる啓発セミナーの開催や、市内 IT 産業の国内外向け PR 活動を実施した。

### ◆事業実績

- ・市内 IT 企業向け先進的技術セミナー（海外技術動向）の実施（オンライン開催）：参加 58 名
- ・新技術（LPWA や IoT など）の活用促進に向けた実証環境（エレクトロニクスセンター内）を提供
- ・高校生を対象としたプログラミング体験など、IT 業界に興味を抱かせるハンズオンセミナー等のオンライン開催  
「Break Through ハンズオンセミナー」：高校生 15 名参加、  
「Break Through Meet Up（オンラインセミナー）」：高校生 3 回延べ 218 名参加
- ・小中学生を対象としたプログラミング体験イベントをオンラインにて開催  
「ジュニア・プログラミング・ワールド」：延べ 4052 名参加（オンラインセミナー・ワークショップ：参加 974 名、バーチャル会場来場者：1022 名、公式 HP 来場者：2056 名）
- ・市内 IT 企業と首都圏及び海外企業とのマッチングを目的とした PR 活動におけるオンラインイベント開催（2 回）：延べ 163 名

## (6) ICT 活用プラットフォーム関連事業

平成 29 年度に構築した「札幌市 ICT 活用プラットフォーム（DATA-SMART CITY SAPPORO）」の維持管理・運営を行うとともに、札幌市立大学 AI ラボとの連携による人流データの分析・公表や、コロナウイルスに関係するデータのオープンデータ化を実施した。

なお、運営主体の一般社団法人札幌圏地域データ活用推進機構（SARD）については、令和 2 年 10 月 1 日付で解散（令和 3 年 3 月 19 日精算終了）し、当財団が運営を引き継いでいる。

### ◆事業実績

- ・プラットフォームの維持管理・運営（問合せ対応、プラットフォーム更新、関係機関との調整）
- ・プラットフォーム運営会議の開催（年 12 回）

- ・札幌市立大学 AI ラボとの連携により、市内の流動人口及び宿泊者数の「推移を分析・公表（2回）」

#### (7) キャッシュレス推進事業（令和2年6月末で事業終了）

令和元年度から引き続き、外国人観光客の増加や消費税の増税対策に伴うキャッシュレス決済に対する関心の高まりを踏まえ、各種決済手段に対応する決済端末の導入を促進する補助事業を実施し、札幌市内店舗におけるキャッシュレス環境の整備を行った。

- ・決済端末設置店舗数（49店舗、前年度からの累計63店舗）

### 4 インタークロス・クリエイティブ・センター事業

○支出決算額 51,183千円

#### (1) ICC施設管理運営事業

#### (2) クリエイティブ産業振興事業

デザイン、映像、音楽、キャラクターなどのコンテンツを制作するクリエイティブ産業の振興を進める新規プロジェクト（事業）の創出拠点施設として、情報発信スペース「クロスガーデン」やクリエイター入居スペース「クリエイティブルーム」等を管理・運営している。

また、コーディネーターによる相談窓口を設け、クリエイターからのビジネス相談やクリエイターと連携を図りたい企業からの相談対応を行うことで、新たなプロジェクトを創出する土壌を築くとともに、クリエイターのニーズや業界トレンドを取り入れた各種イベントをオンライン、オフライン双方で開催し広く情報発信を行った。

さらに、クリエイティブ産業と他産業のコンテンツを活用した協業を促進するため、「コンテンツ活用促進事業費補助金」制度やクリエイター提案型のプロジェクト創出を目指した「札幌試行錯誤」を実施するなど、道内中小企業と市内クリエイターが連携し、企業の経営課題を解決していく取組に対する支援も行った。

なお、今年度においてはコロナウイルスの影響を受け、クロスガーデンの利用者及びイベントも大幅に減少したところ。

#### ◆事業実績

- ・クロスガーデン利用者数：3,395人/年（月平均283名）
- ・クリエイティブルーム入居率：75%（全12室、入居9室、空き3室）
- ・新規プロジェクト登録数：12団体（計89団体）
- ・クリエイター向けネットワーク構築イベント：24回
- ・プロジェクト創出支援事業：5件

- ・コーディネート業務（コーディネーターによる相談対応）：78件
- ・道内連携プロジェクト補助事業：4件実施

## 5 財団プロジェクト推進事業

○支出決算額 15,904千円

### (1) スタートアップ創出支援

革新的なテクノロジーを活用し社会に新しいイノベーションや価値を生み出す「スタートアップ」を地域に創出するための各種支援を実施した。

#### ◆事業実績

- ・オープンネットワークラボ北海道：4者採択
- ・スタートアップ専門相談窓口：延べ117回開設（59名利用）
- ・PRオンラインセミナー：2回出演（延べ67名視聴）

### (2) x R技術普及促進支援

x R分野で事業展開を目指す企業や技術者の増加を推進することを目的として、x R技術を持つ企業群と他産業の接点創出を目指したイベントを開催するとともに、先進的事例などの情報を集め、ビジネスマッチングの機運を醸成する事業を行うとともにx R技術を活用した新サービスや新ビジネス事例を発表する展示会を視察・訪問（原則オフライン、可能な場合はオンライン）し、x R分野における最新トレンドや、今後キーになると思われるx Rの技術動向を調査した。

#### ◆事業実績

- ・x R Exhibition in Sapporo 2021のバーチャル実施：閲覧総数延べ5,362件

### (3) 中小製造業者に対するIoT導入ハンズオン支援

IoT導入ハンズオン支援講師とIoT導入アドバイザーのチームを組成し、中小企業3社に対してハンズオン支援を実施。

#### ◆事業実績

- ・ハンズオン支援実施：延べ12回

### (4) 広報及び情報発信力の強化

財団におけるSNS運用ルールを策定し、各事業におけるSNS活用を推進。併せて、令和3年度の財団ホームページリニューアルに向けて、課題の洗い出しを行った。

Ⅲ 事業実績一覧

所管	NO.	事業名	支出決算額 (千円)	令和2年度		令和3年度		今後（概ね5年間）、目指すべき方向性
				事業実績	課題	事業計画	事業目標	
産業振興センター				335,597				
	1	産業振興センター施設管理運営事業【札幌市受託事業】	111,478	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー・ルーム稼働率 50.3%</li> <li>スタートアップ・プロジェクトルーム入居率 57% ※部屋数ベースは61%</li> <li>利用者アンケート総合満足度 88%（上期）、83%（下期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌の産業振興拠点としてハード面、ソフト面を含めた機能発揮</li> <li>地域を代表するような企業の輩出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー・ルーム等利用促進のためのPR（HP更新含む）</li> <li>スタートアップ・プロジェクトルーム入居者の発掘及び入居者への経営相談等支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー・ルーム稼働率：80%以上</li> <li>スタートアップ・プロジェクトルーム入居率：80%以上</li> <li>利用者アンケート満足度：90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌の産業振興拠点としての機能発揮</li> <li>地域を代表するような企業の輩出</li> </ul>
	2	中小企業経営セミナー等事業【札幌市補助事業】	18,192	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業者向けセミナー：9回/年 145名</li> <li>起業道場：2回/年 34名</li> <li>起業志望者向け講座：6回/年 205名</li> <li>人材育成セミナー等：41回/年 920名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズの高いセミナー等、マーケットの求めに応じた実効性のあるメニューの展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業者向けセミナー、経営者向けセミナー等の開催</li> <li>起業道場（6回で1シリーズ完結）の開催</li> <li>起業志望者向け講座事業の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業塾等：13回/年</li> <li>起業道場：1期（6回）/年</li> <li>起業志望者向け講座事業：5回/年</li> <li>人材育成セミナー等：41回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業及び新たな事業分野への進出の促進</li> <li>企業活動を支える人材の育成による企業経営力の強化</li> </ul>
	3	女性起業家交流会実施事業【札幌市受託事業】	0	札幌市において指名見積合わせを執行した結果、他団体が受託したため未実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな女性起業家の発掘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市内で活躍する女性起業家と起業を目指す女性の交流の場を創出し、市内の創業の促進につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加（女性）70名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市から事業を受託できた場合に事業を実施</li> </ul>
	4	北大ビジネスインキュベーション支援事業【札幌市受託事業】	4,119	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営アドバイス等の相談対応：71件/年</li> <li>商談会・マッチング等の情報提供：1,629件/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な入居企業候補の発掘による入居率の維持</li> <li>時代に合った入居者支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インキュベーションマネージャー1名の派遣による施設入居企業に対する経営支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営アドバイス、マッチング支援：70件/年</li> <li>情報提供：1,600件/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居企業の成長と、札幌市内の新産業の発展</li> </ul>
	5	食品開発支援事業【札幌市補助事業】	40,723	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品開発のための補助（国内）：4件採択及び採択先へのハンズオン支援</li> <li>セミナー、勉強会等の開催：2回</li> <li>輸出仕様食品開発のための補助：9件採択</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の農水畜産資源を「原料」として供給する形態から、「商品」化し付加価値をつけて製造・販売する形態への構造転換の推進</li> <li>市場ニーズや販路を踏まえた持続的に商業流通可能な商品開発の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場ニーズを踏まえ持続的な商業流通を目的とした新商品開発から販売まで一貫したハンズオン型支援</li> <li>道内1次産業、2次産業の情報収集と市内3次産業の課題の把握と解決に向けたマッチング支援</li> <li>輸出に適合した食品開発とマーケティング活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新商品開発のための補助（国内）：6件採択</li> <li>展示商談会等出展による支援（国内）：4回</li> <li>セミナー等の開催：2回</li> <li>輸出仕様食品開発のための補助：10件採択</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の商品開発レベルの向上</li> <li>食品加工業の成長・拡大と地元企業による輸出を含めた販売力強化</li> <li>道内食料産業の付加価値の向上</li> <li>市内企業の海外への販売力強化</li> </ul>
	6	食品販路拡大促進事業【札幌市補助事業】	42,339	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内アドバイザー（専門家）派遣：16件</li> <li>国内セミナー、勉強会等の開催：3件</li> <li>国内商談会開催：3回</li> <li>国内販促支援：6件</li> <li>国内展示商談会等による支援：4回</li> <li>貿易関連相談件数：320件</li> <li>商談サポートによる輸出額：182,042千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国流通への物流コスト及びシステム構築</li> <li>マーケティングによる販売ターゲット市場需要に則した商品開発</li> <li>仕向地ごとのマーケットに即した戦略的な販路開拓、商流構築</li> <li>輸出商材の発掘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道産食品の全国流通活性化に向けた支援</li> <li>アジア諸国における道産食品の輸出活性化に向けた支援</li> <li>各国マーケットの需要及び受入状況調査、道内サプライヤーの状況把握、効果的な商談が見込める商材の発掘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内流通企業連携取組：アドバイザー派遣：24回</li> <li>国内流通企業連携取組：販促支援：6件</li> <li>国内展示商談会等出展による支援（国内）：4回</li> <li>国内商談会等の開催：10回</li> <li>国内セミナー・勉強会等の開催：2回</li> <li>貿易関連相談件数：320件</li> <li>商談サポートによる輸出額：160,000千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規販路拡大への商談及び販売機会の創出</li> <li>道産食品のアジア諸国での販路拡大、ブランド力の向上</li> <li>北海道ブランドの拡大・認知をきっかけとしたインバウンド増</li> <li>支援先における輸出関連業務の自走化</li> </ul>
	7	台湾食品海外コーディネーター事業【札幌市補助事業】	4,201	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾食関連市場に関する調査・報告：19件</li> <li>販路拡大に関する現地商談マッチング及び商談支援：63件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規台湾進出企業及び輸出志向企業の発掘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーターの配置による台湾への輸出拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾食関連市場に関する調査・報告：12件</li> <li>販路拡大に関する企業相談・現地商談マッチング：80件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道産食品の台湾での販路拡大、ブランド力の向上</li> <li>市内飲食店の台湾進出拡大</li> </ul>
	8	食品認証取得支援事業【札幌市補助事業】	14,860	<ul style="list-style-type: none"> <li>認証取得のための補助：9件採択</li> <li>認証取得に係る情報発信・啓発啓蒙等のセミナー、勉強会の開催：3回</li> <li>HACCP講習会の開催5回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令化されたHACCP制度への取組意識の向上及び啓蒙</li> <li>各企業の取組に対する経営資源不足（人材・資金）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の競争力強化に向けたJFS等の認証取得支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の製造・加工・提供について品質管理・衛生管理の各種認証取得のための補助：7件採択/年</li> <li>認証取得に係るセミナー等の開催：3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HACCP等認証に係る重要性の情報発信及び取組推進への啓発啓蒙</li> <li>国内外への販路拡大を目的と各種食品認証取得により企業付加価値向上支援</li> </ul>
	9	プロダクトデザイナー派遣事業【札幌市補助事業】	4,610	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりセミナー：新型コロナウイルスにより中止</li> <li>中間報告会、成果発表会：各1回</li> <li>製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援：4社</li> <li>Web成果事例集制作（2件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「デザイン戦略」の必要性の周知と普及</li> <li>さっぽろ連携中核都市圏を構成する市町村の区域内の製造業の競争力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり企業の製品開発等の支援</li> <li>ものづくりにおける「デザイン戦略」活用に向けた普及啓発</li> <li>専門家（プロダクトデザイナー）による製品開発から販売戦略までの一貫的支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりセミナー：1回</li> <li>中間報告会、成果発表会：各1回</li> <li>専門家（プロダクトデザイナー）による支援：3社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり企業における製品開発力や競争力の強化によるものづくり産業の振興</li> </ul>
	10	小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業【札幌市補助事業】	17,914	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品開発のための補助：9件採択/年</li> <li>採択先へのハンズオン支援</li> <li>ものづくり企業等への訪問：195件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり企業の課題のさらなる発掘</li> <li>さっぽろ連携中核都市圏を構成する市町村の区域内の小規模事業者の付加価値向上促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模ものづくり企業向けの製品開発・販路拡大支援</li> <li>ものづくり企業における課題（製品開発、行政に求める支援策等）把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品開発のための補助：10件採択/年</li> <li>ものづくり企業等への企業訪問：120件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内ものづくり関連企業の革新的な新製品・新技術の開発支援によるものづくり産業の付加価値向上</li> <li>地域を支える魅力ある企業への成長を促すための企業間連携の構築</li> </ul>

所管	NO.	事業名	支出決算額 (千円)	令和2年度		令和3年度		今後(概ね5年間)、目指すべき方向性
				事業実績	課題	事業計画	事業目標	
	11	映像産業振興事業 【札幌市補助事業】	77,162	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致した映画・ドラマの件数：3件(うち1件新型コロナウイルスにより撮影延期)</li> <li>ボランティアエキストラ登録数：3,300名</li> <li>映像制作助成金採択件数：16件(全てプロモーション映像制作案件)</li> <li>国内外映像見本市への出展：新型コロナウイルスの影響により事業中止</li> <li>誘致した作品「波よ聞いてくれ」、「ホテルローヤル」等を活用したシティプロモーションの実施</li> <li>地場映像産業活性化のためのプログラム(学生向けワークショップ(5回)、一般・従事者向けセミナー(4回))の実施</li> <li>映像コンテスト、ドキュメンタリー制作実践講座、札幌映像コーディネーター勉強会の実施</li> <li>支援映画「kitakita」上映イベントの実施</li> <li>台北×札幌 映像事業者マッチングイベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像撮影コーディネーター制度の意義と活用</li> <li>他産業との更なる連携</li> <li>地場の映像産業のビジネス機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際共同制作促進にむけた取組(助成金活用による制作支援)</li> <li>国内外からのロケ誘致の促進による札幌の魅力発信やボランティアエキストラ登録制度等の活用によるシビックプライドの醸成</li> <li>映像の力を活用した他産業へ波及効果の創出</li> <li>海外のネットワークを生かした映像コンテンツのビジネス機会の創出支援</li> <li>映像コンテスト、ドキュメンタリー講座、ワークショップ、セミナー、勉強会等を通じた映像産業の人材基盤の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致した映画・ドラマの件数：3件</li> <li>ボランティアエキストラ登録数：3,500名</li> <li>映像制作助成金採択件数：15件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウィズコロナ、アフターコロナにおける新たな映像需要の下での映像産業振興(地場映像産業の企画力・競争力の強化、成長分野への支援、人材基盤の強化等)</li> <li>映画、ドラマ等のロケ誘致や映像のプロモーション効果を通じての多様な産業への経済波及効果、地域全体の活性化(観光客誘致や道産品の販路拡大等)</li> </ul>
	12	ASEAN地域食品海外 コーディネート事業 【札幌市受託事業】	-	(R3年度新規事業)		<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーターの配置による、マレーシアの食品市場開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マレーシア食関連市場に関するセミナー開催：1回</li> <li>マレーシア食関連市場に関する調査・報告：12件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市から事業を受託できた場合に事業を実施</li> </ul>
	13	西日本新規市場販路開拓・ 拡大促進事業 【国補助事業】	-	(R3年度新規事業)		<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄及び関西における展示商談会での「北海道ゾーン」の設置、バイヤーズガイドの発行と出展補助</li> <li>商談成約率向上のための「オンライン商談会」の実施</li> <li>商談スキルを上げるための勉強会、商談ツールとなるFCPシートの添削指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規リーチ数：沖縄800件、関西2,100件</li> <li>商談数：沖縄1,000件、関西2,500件</li> <li>取引先増加数：沖縄100社、関西260社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道からでは進出するにはハードルが高くなっている西日本市場において、道産品の定番化、定着を図ることにより、継続的な流通を実現させ、物流コストの低減→更なる流通量の増加を目指す。</li> </ul>
	14	オンライン配信総合サポ ート事業	-	(R3年度新規事業)		<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインセミナーの活用方法の提案やオンラインセミナーの開催支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインセミナー開催支援：10回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体、支援機関との連携強化による有効な情報発信</li> </ul>
中小企業支援センター			95,500					
	1	中小企業支援センター事業 【札幌市受託事業】	95,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営・融資相談件数：2,829件/年</li> <li>融資あっせん受付件数：49件/年</li> <li>企業訪問等による事後フォローアップ：45件/年</li> <li>アドバイザー派遣：2日(企業数1社)/年</li> <li>中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業【国との協力事業】専門家派遣：0社(0日)/年</li> <li>新型コロナウイルスに係る事業者向けワンストップ相談窓口の運営：40,888件/年</li> <li>女性中小企業診断士による女性向け起業・経営相談窓口 53日/年</li> <li>さっぽろ人材サポートデスク(ひとサポ)による相談窓口 100日/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報強化による利用促進</li> <li>斡旋先への事後フォローの徹底、優良先の発掘</li> <li>「さっぽろ創業支援プラザ」の利用活用</li> <li>融資斡旋以外の経営支援の充実</li> <li>国の制度の積極的な活用促進</li> <li>専門相談員のスキルアップ及び広報強化による利用促進</li> <li>女性起業家への支援窓口の周知</li> <li>中小企業家へ人材確保窓口の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等が抱える経営課題解決に向けたアドバイザー派遣</li> <li>創業・雇用創出支援資金の事後フォローアップによる継続的な支援体制の構築</li> <li>オンライン機能拡充による経営相談窓口の支援強化</li> <li>女性中小企業診断士による女性向け起業前後の経営支援</li> <li>社会保険労務士等による求人方法、採用計画、テレワーク導入などへの経営支援の強化</li> <li>創業・雇用創出支援資金並びにセーフティネット認定申請に係る適切な相談・融資受付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営・融資相談件数：2,800件/年</li> <li>融資あっせん件数：60件/年</li> <li>企業訪問等による事後フォローアップ：60件/年</li> <li>アドバイザー派遣：10日(5社)/年</li> <li>新型コロナ感染症に係るワンストップ相談窓口の安定運営</li> <li>女性中小企業診断士による女性向け起業・経営相談窓口 52日/年</li> <li>社会保険労務士等による「さっぽろ人材サポートデスク」 96日/年</li> <li>職員の支援施策勉強会 12回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や北海道・札幌商工会議所などの専門家派遣事業との連携</li> <li>さっぽろ産業ポータルサイト・メルマガや税理士情報などを活用した創業支援資金等の広報強化</li> <li>支援センター職員のアドバイスカの向上</li> <li>中小企業者への円滑な資金調達の支援と質の高い経営支援</li> <li>他中小企業支援機関との連携強化による有効な情報提供</li> </ul>



所管	NO.	事業名	支出決算額 (千円)	令和2年度		令和3年度		今後(概ね5年間)、目指すべき方向性
				事業実績	課題	事業計画	事業目標	
エレクトロニクスセンター				215,006				
	1	エレクトロニクスセンター 管理運営事業 【札幌市受託業務】	74,644	・貸会議室、駐車場等の施設管理運営	・改修工事終了後の施設のPR ・技術開発室の入居率の維持・向上	・会議室等利用促進のためのPR ・技術開発室入居率向上のための誘致活動	・年度末入居率：85%超(技術開発室)	・実証実験等の場としての利用等、 エリセン・テクノパークの新機能の 提示・活用
	2	技術開発室支援事業 【財団自主事業】	37,594	・年度末入居率81.5%				
	3	IoT推進コンソーシアム事業 【札幌市補助事業】	36,045	・AI人材育成講座(いずれもハンズオン形式にて「AI×経営(実践編)」「初心者向けAIエンジニア育成」を各2回、「データサイエンティスト育成講座」を1回)を実施(4h/回を全8回開催)：延べ52名 ・AI部会、ICT活用普及促進部会主催によるイベント(AI部会主催イベント2回、ICT活用普及促進部会3回)：延べ300名 ・ITビジネス創出支援事業費補助金：2件採択 ・ITビジネス創出支援事業課題解決特化型プロジェクト「札幌型観光Ma a S推進事業」に参画(産学官共同参画：観光地・旅程提案アプリ制作&アプリ使用による観光地周遊を促す実証調査、等) ・先進的IT技術に関する研修(普及・啓発セミナー・イベント：Developers Festa)の集客(コロナ感染拡大により無観客開催、収録配信)：講演動画閲覧者334名	・新技術やデータを活用し、時代のニーズを踏まえたビジネスをデザインできる高度なIT人材の継続的な育成と最新技術の社会実装をリードしていくIT企業の支援と継続的な育成 ・最新技術トレンドを捉えたより実践的な技術研修の実施 ・AI、IoTなどの先進的IT技術に長けた市内IT技術者やAI技術を適材活用できるデータサイエンティストの育成 ・IT技術を活用した自社ビジネスの展開を核とする市内IT企業の増加及びライトアップ強化	・AI、IoTなどのIT技術と企業が持つ蓄積データを融合した、市内IT企業が関わる新たなビジネスの創出や参画支援など、産学官連携によるコンソーシアム(AI部会：Sapporo AI Lab)の運営 ・市内IT企業による先進的IT技術の社会実装に向けた実証や、自らが新たなサービスや製品を開発し、市場参入及び拡大を目的とした取組に対する費用の補助 ・地域のエンジニアを対象とした、先進的IT技術を中心とした普及・啓発セミナーの開催(Developers Festa Sapporo、テクニカルセミナー、等)	・人材育成講座：「AI×データ×ビジネス」(データサイエンティスト育成を目的とした少人数ハンズオン)を3セット、「初心者向けAIエンジニア」(少人数ハンズオン)を2セット：総受講者90名 ・AI部会やIT業界団体との共催主催によるイベント開催(市内IT企業が関わる、AIやIT技術のビジネス展開加速を目的)：4回程度 ・先進的IT技術に関するセミナー(Developers Festa Sapporoなど)の集客：延べ200名 ・ITビジネス創出支援事業費補助金の実施 @4,000千円×4件採択	・地域から新しい技術や価値が連続的に生み出される仕組みの形成 ・市内IT企業が関わる、IT技術活用による新しい製品やサービスが創出される環境の醸成 ・最新の技術・サービスを提供する経営者・技術者のコミュニティの形成 ・IT(産業)が持つ魅力や社会貢献(withコロナ対策等の取組)などの情報発信
	4	IT活用ビジネス拡大事業 【札幌市補助事業】	18,900	・IT活用ユーザ企業向けセミナー：2回実施(参加者：200名(札幌イノベーションセミナー秋・春)) ・ニーズ調査対象：運輸(札幌地区トラック協会)8社、食(菓子工業会)5社 上記調査対象とIT企業による交流会：IT企業延べ24社参加。 ・ITコーディネータの活用等も含めた、ユーザ企業のマッチング支援：3件 ・IT活用促進事業費補助金：Withコロナ版として実施、2社採択(計5,860千円) ・IT-バイオ研究開発補助金：3社交付(計4,333千円)	・セミナーやマッチングの結果のフォローアップ ・他産業企業との効果的なマッチングにつながるIT化のニーズ調査及び掘り起しの実施 ・経営とのバランスを考慮したIT導入に向けたアドバイスができる専門家を積極的に活用し、IT活用を目指す中小企業の戦略的IT投資の促進	・IT活用拡大の啓蒙普及セミナーや、IT技術活用によるビジネスイノベーション事例の紹介セミナーを開催 ・市内IT企業と他産業分野の企業とのマッチングを最終目的とした、IT活用ニーズ調査及び交流会の開催 ・IT活用促進に向けたユーザ企業向け戦略的ITシステム開発費の補助 ・ウェットラボ入居企業を対象とした、研究開発に係る補助金の交付	・IT活用ユーザ企業向けセミナー(札幌イノベーションセミナー等)参加者：約200名 ・ニーズ調査対象：運輸業、製造業(食)分野、10~15社程度。交流会(IT企業及び他産業分野の企業が数社程度参加する、提携・契約を視野に入れた小規模ディスカッション形式) ・ITの導入手順と経営に詳しい専門家などの派遣支援：10件程度(IT活用促進事業費補助金の申請を見据えた支援) ・IT活用促進事業費補助金の交付@2,000千円×5件採択 ・IT-バイオ研究開発補助金の交付3件程度(計6,000千円)	・IT業界全体のリーディング・カンパニーとなる市内IT企業の育成 ・IT技術活用による新しい製品やサービスが創出される環境の醸成 ・様々な産業分野と市内IT企業との、連携による札幌発となる多くの新サービスを創出
	5	ITイノベーション推進事業 【財団自主事業】	16,732	・市内IT企業向け先進的技術セミナー(海外技術動向)の実施(オンライン開催) ・若手の市内IT技術者を対象としたキャリアデザイン研修(ワークショップ)を実施(オンライン開催) ・学生や若年層を対象としたプログラミングなど、IT業界に興味を抱かせるプログラミングセミナー(Break Through)や、小中学生を対象とした体験イベント(ジュニア・プログラミング・ワールド)をオンラインにて開催	・次世代の新技術に係る情報収集と、市内IT企業への迅速な展開 ・若い世代をIT業界に引き込み、人材として定着・確保していく	・今後注目すべき新技術やITを活用したイノベーション事例などの調査及びモデル事業の実施 ・市内IT企業の海外展開等のイノベティブな活動の支援 ・学生や若年層を対象としたプログラミングなど、IT業界に興味を抱かせる啓発セミナーの開催	・新技術活用の事例紹介セミナー：1件 ・市内IT技術者を対象とした実践的研修(またはワークショップ)：1件 ・学生・若年層向けプログラミングイベント：3回程度	・新技術を応用した新しいサービスモデルの創出や、必要とされる人材育成に資する機能の提供
	6	ICT活用プラットフォーム 関連事業 【札幌市補助事業】	24,855	・H29年度に構築した「札幌市ICT活用プラットフォーム」の維持管理・運営(問合せ対応、プラットフォーム更新、関係機関との調整) ・ICT活用プラットフォーム運営会議の開催(年12回) ・札幌市立大学AIラボとの連携により、市内の流動人口及び宿泊者数の推移を分析・公表(2回)	・データ利活用の促進に向けたモデル事例の発掘・創出 ・他のプラットフォームとの連携を含むデータ利活用促進に向けた調査・研究	・札幌市ICT活用プラットフォームの維持管理及び運営 ・データ利活用の促進に向けたモデル事例の発掘・創出及びデータ利活用促進事例の調査・研究 ・官民が保有するデータのオープン化及び利活用の促進	・データ分析ツールの使い勝手の向上に向けた利用者へのヒアリング及びツールの改修 ・データ利活用事例創出に向けた利用者への活用方法の提案や支援 ・ICT活用プラットフォーム(DSCS)の運営及びBSARD関連事業の管理	・事業分野・事業領域の拡大 ・データ利活用事例の発掘・創出
	7	キャッシュレス推進事業 【札幌市補助事業】 (R2年6月末で事業終了)	6,236	・決済端末設置店舗数(49店舗、前年度からの累計63店舗)	・決済端末導入の必要性及びメリットの訴求	(令和2年度で事業終了)	-	-
	8	DX推進事業	-	(R3年度新規事業)		・市内企業のトップや経営層対象の、DXとは何か、DXがなぜ必要か、DXを進める上でのポイント、DXにおける先進事例の紹介などを交えたセミナーを開催する。 ・市内企業における社内でのDX推進の中核を担うリーダーを養成するための勉強会および交流会を中心としたプログラムを構築、実施する。	・DX普及促進セミナーの開催：1回程度開催(対象：IT・他産業含む市内企業トップ及び経営層) ・DX推進リーダー養成プログラム：5回程度 社内でのDX推進の中核を担うリーダーを養成するための勉強会および交流会を中心としたプログラムを構築、実施(対象：DX推進に意欲のある市内企業20社から30社程度)	・市内企業におけるDX推進人材の養成、市内企業におけるDX推進に向けた意識醸成 ・商取引におけるデジタル化対応の促進(ビジネスにおけるクラウドサービスの積極活用) ・大容量高速通信(5G、Wi-Fi6など)を見据えた新たな企業価値の創出(産業横断的なモデルケースの創出)

所管	NO.	事業名	支出決算額 (千円)	令和2年度		令和3年度		今後(概ね5年間)、目指すべき方向性
				事業実績	課題	事業計画	事業目標	
インタークロスクリエイティブセン: 51,183								
	1	ICC施設管理運営事業 【札幌市受託業務】	28,054	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロスガーデン利用者数: 月平均283名</li> <li>クリエイティブルーム入居率: 75% ※部屋数ベース</li> <li>クリエイティブルーム入居率: 83% ※面積ベース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロスガーデンのイベント利用のスケジュール等、円滑な運用</li> <li>クリエイティブルームの入居促進</li> <li>有望なプロジェクトの集積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者、プロジェクトメンバー間の情報交換やモチベーション向上を目的としたコミュニケーションの活性化に関する取組</li> <li>新たなプロジェクトの創出やクリエイター及び企業との交流の場として更に施設利用が促進されるよう、ネットワークの構築を図る取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロスガーデン利用者数: 月平均350名</li> <li>クリエイティブルーム入居率: 85% ※面積ベース</li> <li>入居者、プロジェクトメンバー間のコミュニケーション活性化イベント(3回以上)</li> <li>有益なプロジェクトやクリエイターの発掘及び関係構築を目的としたクリエイティブ関連イベント等への参加(3回以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌のクリエイティブ産業の振興拠点となる各種事業の実施</li> <li>ICCを拠点とする高い競争力を持つ札幌のクリエイティブ産業の確立</li> <li>市場開拓のための各団体・業界とのネットワーク形成</li> </ul>
	2	クリエイティブ産業振興事業 【札幌市補助事業】	23,129	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリエイター向けネットワーキングイベント: 7回開催</li> <li>クリエイティブ連携促進イベント: 4回開催</li> <li>クリエイターと他産業の連携によるクリエイティブ活用を促進する補助金(コンテンツ活用促進事業費補助金): 3,470千円(補助金交付4事業)</li> <li>コーディネーター相談対応件数: 78件</li> <li>他産業連携マッチング件数: 15件</li> <li>プロジェクト創出件数: 5件</li> <li>他産業連携プロジェクト: 4件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種メンバー間の情報交換及び融合の意欲の低さ</li> <li>クリエイター提案型の新商品、新サービスの創出</li> <li>クリエイターによるプロジェクトの発掘、創出</li> <li>登録プロジェクトのビジネス化促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌メディア・アート・フォーラムと連携した次世代若手クリエイター(学生を含む)の支援に関する取組の実施</li> <li>クリエイター提案型のプロジェクトの創出</li> <li>勉強会などの小規模イベントの実施によるコミュニティ形成の促進及びクリエイターによる小規模イベントの自走化</li> <li>クリエイター同士、クリエイターと他産業との連携促進</li> <li>クリエイター等と他産業企業との連携による製品・サービスの高付加価値化やデザイン・コンテンツ関連市場の拡大、他産業企業のクリエイティブ活用の普及促進などを目的とした、クリエイティブ活用を促進する補助事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手クリエイター(学生を含む)の人材育成に資する取組(1回以上)</li> <li>プロジェクト創出件数: 5件</li> <li>クリエイター向けネットワーキングイベント(5回以上)</li> <li>クリエイティブ活用連携促進イベント(5回以上)</li> <li>クリエイターと他産業の連携によるクリエイティブ活用を促進する補助金の交付: 1,000千円×4件</li> <li>コーディネーター相談対応件数: 88件</li> <li>他産業連携マッチング件数: 20件</li> </ul>	
財団プロジェクト 15,904								
	1	財団プロジェクト推進事業	15,904	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタートアップ創出支援【札幌市補助事業】</li> <li>オープンネットワークラボ北海道4者採択</li> <li>スタートアップ専門相談窓口: 延べ117回開設(59名利用)</li> <li>オンラインセミナー2回出演(延べ67名視聴)</li> <li>XR技術普及促進支援【札幌市補助事業】</li> <li>xR Exhibition in Sapporo 2021のチャール実施(閲覧総数延べ5,362件)</li> <li>中小製造業者に対するIoT導入ハンズオン支援【札幌市受託事業】</li> <li>中小企業3社に対して延べ12回のハンズオン支援を実施。</li> <li>広報及び情報発信力の強化【財団自主事業】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタートアップ支援体制の確立</li> <li>xR市場への参入企業の更なる促進及び国内外にアピールできるxR商材創出への支援</li> <li>ハンズオン支援先企業の継続支援</li> <li>財団内チームの組成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタートアップ創出関連業務の受託と創業支援及び施設のあり方(機能と役割)の見直し検討</li> <li>xR技術活用による新ビジネス創出を目指し、BtoB向けxR普及促進イベントを開催し、本技術の普及促進やコミュニティ形成等の機運を醸成</li> <li>広報及び情報発信力の強化</li> <li>特命事項に係る企画、立案及び総合調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」の事務局ほか支援業務の受託</li> <li>xR技術を持つ企業群と他産業分野との交流・マッチングを目的としたイベント「xR Exhibition」の開催支援(xRに関するビジネス創出に向けた少人数による複数カンファレンス形式)</li> <li>SNSを活用したプロモーション、ホームページのリニューアル等による広報力強化</li> <li>財団における情報の共有化及び各拠点間や各事業間の連携強化、人材育成、働き方改革ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>xR市場への参入企業の更なる促進及び国内外にアピールできるxR商材創出への支援</li> </ul>
※R3年度はエレクトロニクスセンター事業として実施予定								
(令和2年度で事業終了)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>諸課題の解決</li> <li>指定管理の継続</li> <li>自主財源の確保、拡大</li> </ul>								

注: 端数処理の関係で、各拠点の名称の右欄に記載している支出決算額と、当該拠点で実施した各事業の支出決算額の合計額が合わない場合がある。

【令和2年度 資金収支決算(事業別対比)】 (法人会計配賦前)

(単位:円)

項 目	収 入 ①	支 出 ②	収支差 ①-②
産業振興センター事業	317,892,175	335,597,276	△ 17,705,101
中小企業支援センター事業	113,100,250	95,499,658	17,600,592
エレクトロニクスセンター事業	250,734,500	215,005,586	35,728,914
インタークロス・クリエイティブ・センター事業	52,767,026	51,183,318	1,583,708
財団プロジェクト推進事業	15,738,380	15,904,462	△ 166,082
管理費	44,994,000	77,370,978	△ 32,376,978
その他 (基本財産利息、特定資産利息、雑収入、受入保証金収入、受入保証金引当資産取得支出、退職金引当資産取得支出、保証金支出、法人税等)	12,335,688	4,439,670	7,896,018
計 (当期収支差額)	807,562,019	795,000,948	12,561,071
前期繰越収支差額			122,783,769
次期繰越収支差額			135,344,840

- ・ 補助金収入は各事業の収入に含めて表している。
- ・ 固定資産(什器備品、ソフトウェア等)取得支出、リース債務支払支出は、各事業の支出に含めて表している。